



Session Manager の設定

この章では、Cisco NX-OS で Session Manager 機能を設定する方法について説明します。

この章で説明する内容は、次のとおりです。

- 「[Session Manager の概要](#)」 (P.23-1)
- 「[設定時の注意事項および制限事項](#)」 (P.23-1)
- 「[Session Manager の設定](#)」 (P.23-2)
- 「[Session Manager の設定確認](#)」 (P.23-4)

Session Manager の概要

Session Manager を使用すると、バッチ モードで設定変更を実装できます。Session Manager は次のフェーズで機能します。

- **コンフィギュレーションセッション**：セッション マネージャ モードで実装するコマンドのリストを作成します。
- **検証**：設定の基本的なセマンティクス検査を行います。Cisco NX-OS は、設定の一部でセマンティクス検査が失敗した場合にエラーを返します。
- **確認**：既存のハードウェア/ソフトウェア構成およびリソースに基づいて、設定を全体として確認します。Cisco NX-OS は、設定がこの確認フェーズで合格しなかった場合にエラーを返します。
- **コミット**：Cisco NX-OS は設定全体を確認して、デバイスに対する変更を自動的に実装します。エラーが発生すると、Cisco NX-OS は元の設定に戻ります。
- **打ち切り**：実装しないで設定の変更を破棄します。

任意で、変更をコミットしないでコンフィギュレーションセッションを終了できます。また、コンフィギュレーションセッションを保存することもできます。

設定時の注意事項および制限事項

Session Manager には、次の注意事項および制限事項があります。

- Session Manager がサポートするのは、Access Control List (ACL; アクセス コントロール リスト) 機能だけです。
- 作成できるコンフィギュレーションセッションの最大数は 32 です。
- すべてのセッションで設定できるコマンドの最大数は 20,000 です。

Session Manager の設定

ここでは、次の内容について説明します。

- 「セッションの作成」 (P.23-2)
- 「セッションでの ACL の設定」 (P.23-2)
- 「セッションの確認」 (P.23-3)
- 「セッションのコミット」 (P.23-3)
- 「セッションの保存」 (P.23-3)
- 「セッションの廃棄」 (P.23-3)
- 「Session Manager の設定例」 (P.23-3)

セッションの作成

作成できるコンフィギュレーションセッションの最大数は 32 です。コンフィギュレーションセッションを作成する手順は、次のとおりです。

	コマンド	目的
ステップ 1	switch# configure session name	コンフィギュレーションセッションを作成し、セッションコンフィギュレーションモードを開始します。名前は任意の英数字ストリングです。
ステップ 2	switch(config-s)# show configuration session [name]	(任意) セッションの内容を表示します。
ステップ 3	switch(config-s)# save location	(任意) セッションをファイルに保存します。保管場所は bootflash または volatile です。

セッションでの ACL の設定

コンフィギュレーションセッションで ACL を設定できます。コンフィギュレーションセッションで ACL を設定する手順は、次のとおりです。

	コマンド	目的
ステップ 1	switch# configure session name	コンフィギュレーションセッションを作成し、セッションコンフィギュレーションモードを開始します。名前は任意の英数字ストリングです。
ステップ 2	switch(config-s)# ip access-list name	ACL を作成します。
ステップ 3	switch(config-s-acl)# permit protocol source destination	(任意) ACL に許可文を追加します。
ステップ 4	switch(config-s-acl)# interface interface-type number	インターフェイスコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 5	switch(config-s-if)# ip port access-group name in	インターフェイスにポートアクセスグループを追加します。
ステップ 6	switch# show configuration session [name]	(任意) セッションの内容を表示します。

セッションの確認

セッション モードでセッションを確認する手順は、次のとおりです。

コマンド	目的
switch(config-s)# verify [verbose]	コンフィギュレーション セッションのコマンドを確認します。

セッションのコミット

セッション モードでセッションをコミットする手順は、次のとおりです。

コマンド	目的
switch(config-s)# commit [verbose]	コンフィギュレーション セッションのコマンドをコミットします。

セッションの保存

セッション モードでセッションを保存する手順は、次のとおりです。

コマンド	目的
switch(config-s)# save <i>location</i>	(任意) セッションをファイルに保存します。保管場所は <i>bootflash</i> または <i>volatile</i> です。

セッションの廃棄

セッション モードでセッションを廃棄する手順は、次のとおりです。

コマンド	目的
switch(config-s)# abort	コマンドを適用しないで、コンフィギュレーション セッションを廃棄します。

Session Manager の設定例

次に、ACL 用のコンフィギュレーション セッションを作成する例を示します。

```
switch# configure session test1
Config Session started, Session ID is 1
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config-s)# ip access-list acl1
switch(config-s-acl)# permit tcp any any
switch(config-s-acl)# exit
switch(config-s)# interface ethernet 1/20
switch(config-s-if)# ip port access-group acl1 in
switch(config-s-if)# exit
```

```
switch(config-s)# verify
Verification Successful
switch(config-s)# exit
```

Session Manager の設定確認

Session Manager の設定情報を確認する手順は、次のとおりです。

コマンド	目的
switch# show configuration session [name]	コンフィギュレーション ファイルの内容を表示します。
switch# show configuration session status [name]	コンフィギュレーション セッションのステータスを表示します。
switch# show configuration session summary	すべてのコンフィギュレーション セッションのサマリーを表示します。

次に、ACL 用のコンフィギュレーション セッションを確認する例を示します。

```
switch# show configuration session test1
config session name test1
0256 ip access-list acl1
0512 permit tcp any any
0768 interface Ethernet1/20
1024 ip port access-group acl1 in
switch#
```